



「包む」をイノベーションする。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)



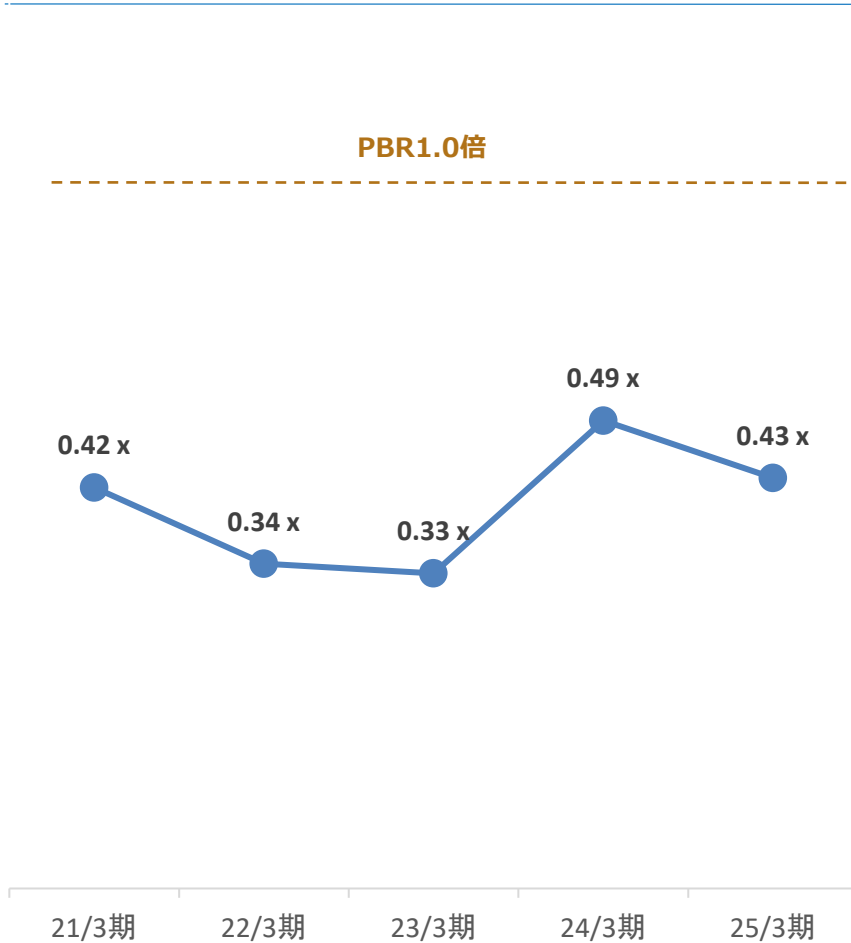
東証プライム
3946

株式会社トーモク

2025年5月29日

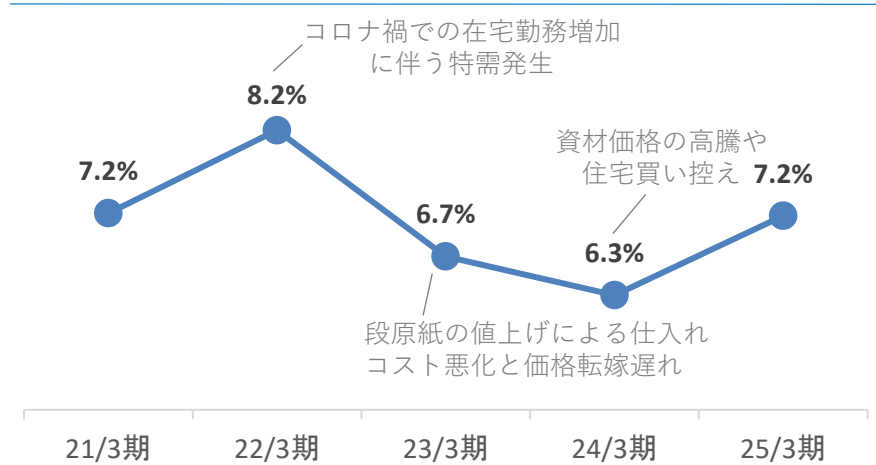
PBRは1倍を大きく下回って推移する状態が継続 → “成長戦略の浸透が課題”

<PBRの経年推移>

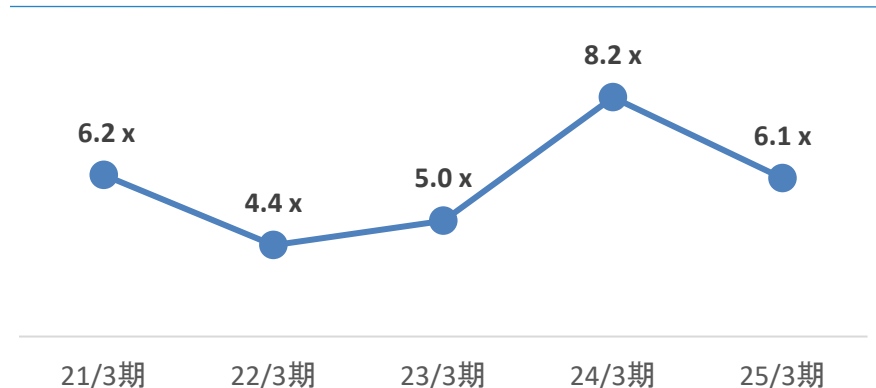


<ROEの経年推移>

株主資本コストとの
比較は次頁参照

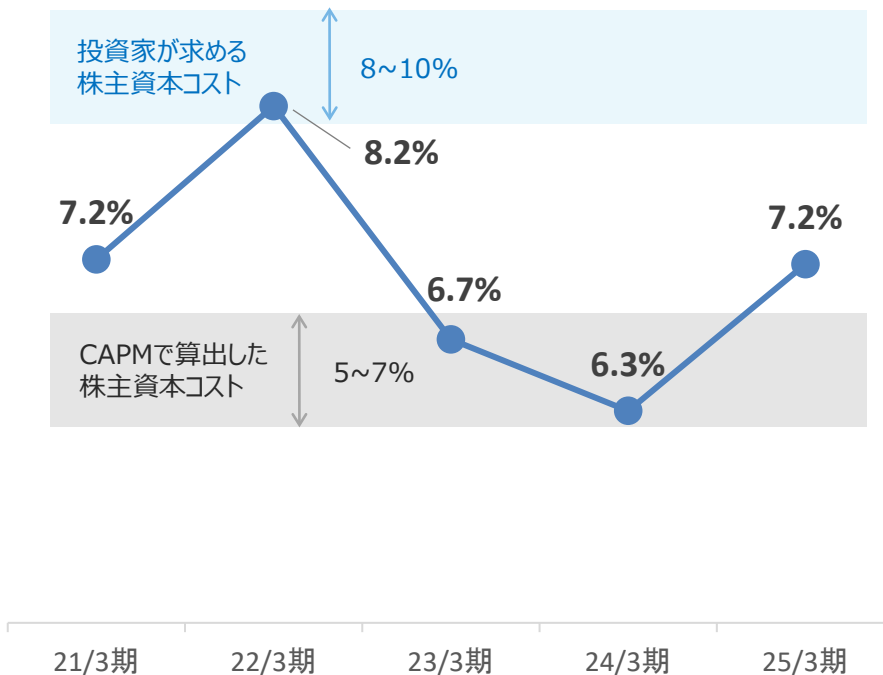


<PERの経年推移>



ROEはCAPMで算出した推計値を概ね上回る水準であるが、投資家・株主との対話を通じて把握した当社に求める株主資本コスト水準には届いていない

<ROEと株主資本コスト(イメージ図)>



<株主資本コストの算出方法>

投資家へのヒアリング

- 2023年度下期において、当社と日頃接点のある複数の投資家・株主に対し、当社に求める株主資本コストの水準に関してヒアリングを実施
- 当該ヒアリングにおいては、当社に求める株主資本コストは8~10%であった

CAPM

- 当社基準に基づくCAPM推計値では株主資本コストは5~7%程度
- なお、外部アドバイザーに独自に算出を依頼した結果においても、当該数値と同等の水準であった

ROEおよびPERの向上を通じて、PBR水準を改善する

PBR
構成要素

ROE
向上

収益力向上

株主還元強化

PER
向上

IR強化
(資本コスト低減)

利益(EPS)の
成長期待

PBR
1倍

ESG取組み
無形資産の
顕在化

<実施内容>

- 価格適正化による利益率改善
- グループ内業務の集約による間接コストの抑制
- 配当性向30%程度を目安
- 累進配当の継続

具体的な
内容はP6へ

- 個人投資家向け説明会やSR面談の実施
- 英文開示資料の拡充(決算短信・適時開示・説明会資料)
- 投資情報誌への掲載
- 成長戦略の浸透による市場からみた利益成長期待の増加

主に決算説明会と個別面談を通じて株主・投資家との対話を実施

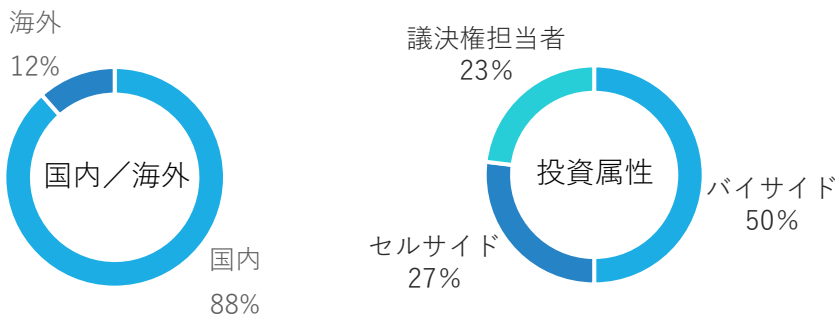
＜対話・面談の実施状況＞

2024年度の対話・面談実績：37回（26社）

＜主な対応者＞

決算説明会	代表取締役 社長執行役員 取締役 専務執行役員 取締役 常務執行役員
個別面談	取締役 専務執行役員 取締役 常務執行役員
株主総会	全ての取締役及び監査役
トーマク 共栄会	取締役 専務執行役員

＜株主・投資家の属性概要＞



＜対話の主なテーマや株主の関心事項＞

- ✓ 当社グループ全体の業績見込み/予想
- ✓ 事業毎の外部環境や業績見込み/予想
- ✓ 業績の増減要因
- ✓ 第2次中期経営計画の進捗と今後の経営方針
- ✓ 事業ポートフォリオに関する考え方
- ✓ 株主還元を含めた、投資方針
- ✓ ESGへの取り組み状況
- ✓ IR活動や情報開示拡充への期待感

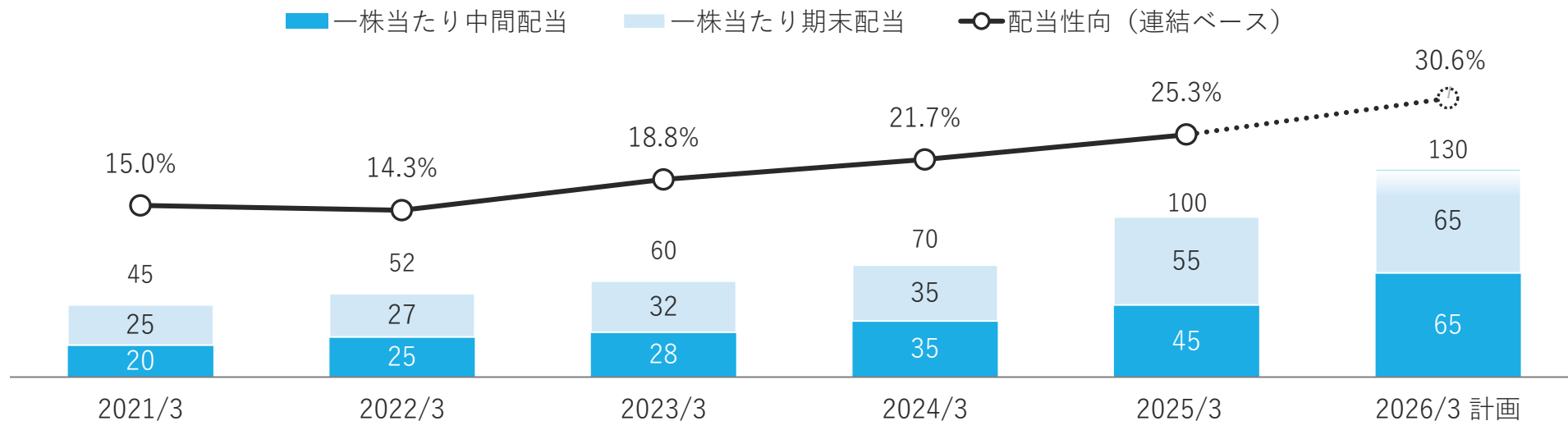
株主還元方針の継続： 2025年3月期は年100円配当へ（前期比＋30円）

【方針】

- ・ 配当については、中長期的な利益成長に合わせて増配していく累進配当(配当性向30%程度を目安)とする
- ・ 自己株取得については、機動的に実施する予定

*** 2025年3月期** ：**配当性向25.3%** **年100円**（中間45円＋期末55円）
（当初予定：21.1%）

*** 2026年3月期（計画）**：**配当性向30.6%** **年130円**（中間65円＋期末65円）



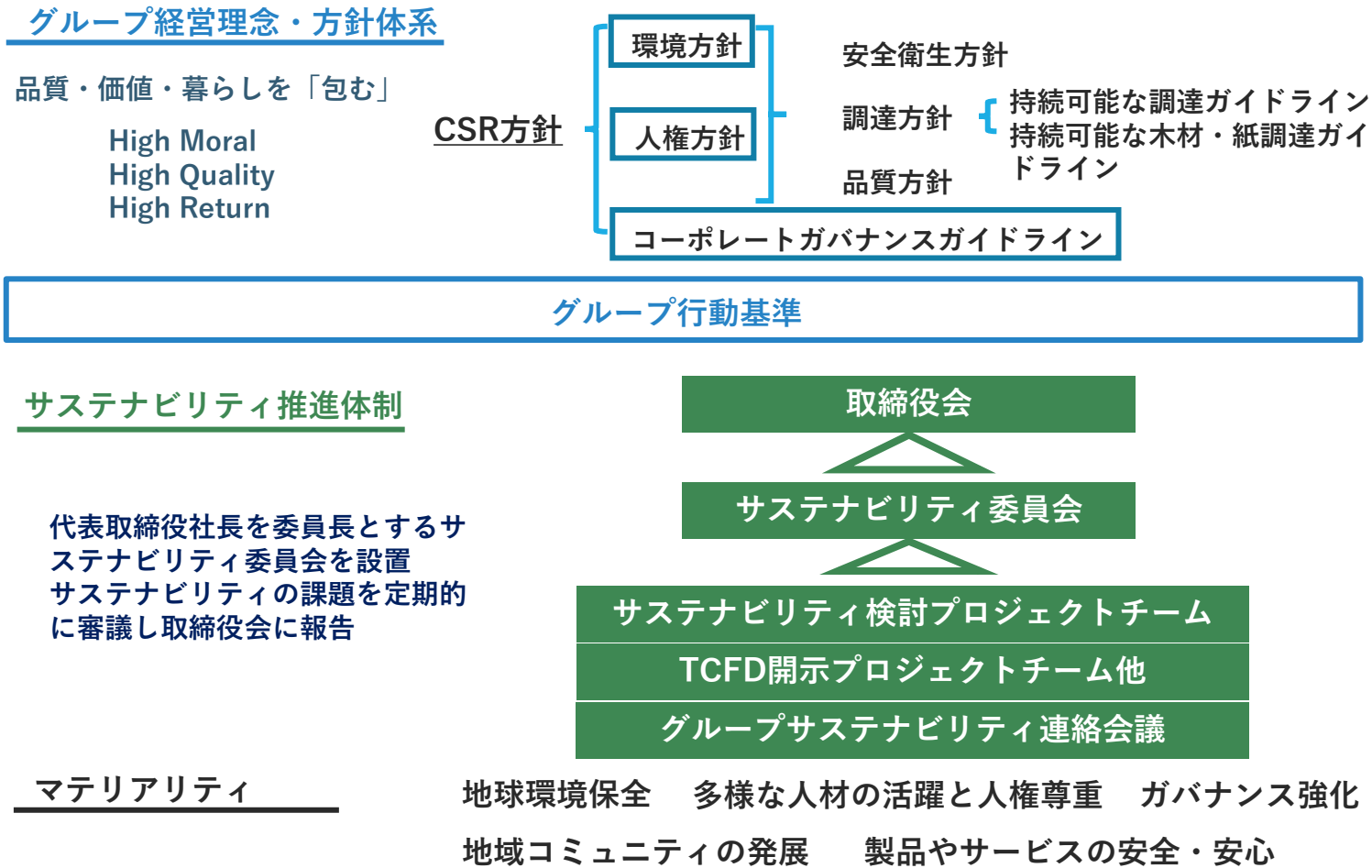


「包む」をイノベーションする。

ご参考資料 ESGへの取り組み



TOMOKU



GHG2030年までに2013年比で50%削減（Scope1 + 2）：再生可能エネルギー導入や効率化・プロセス改善

段ボール

対象：生産設備中心

再生可能エネルギー由来電力の導入、燃料の重油から天然ガスへの切り替え
LED照明への切り替え、バッテリー式構内作業用リフトの導入

住宅

対象：スウェーデンハウス（注文住宅）、玉善（建売住宅）

居住時のエネルギー消費量を2016年省エネ基準比 50%削減



（中長期）教育・医療・福祉を充実させたい人と環境にやさしい街づくりに貢献

スウェーデンヒルズ（札幌市郊外のスウェーデンハウスの街）の横展開

森林保全・植林によりエリア内のCO2発生量を吸収

今後、他の分譲エリアのCO2吸収・削減活動のお手本に

運輸倉庫

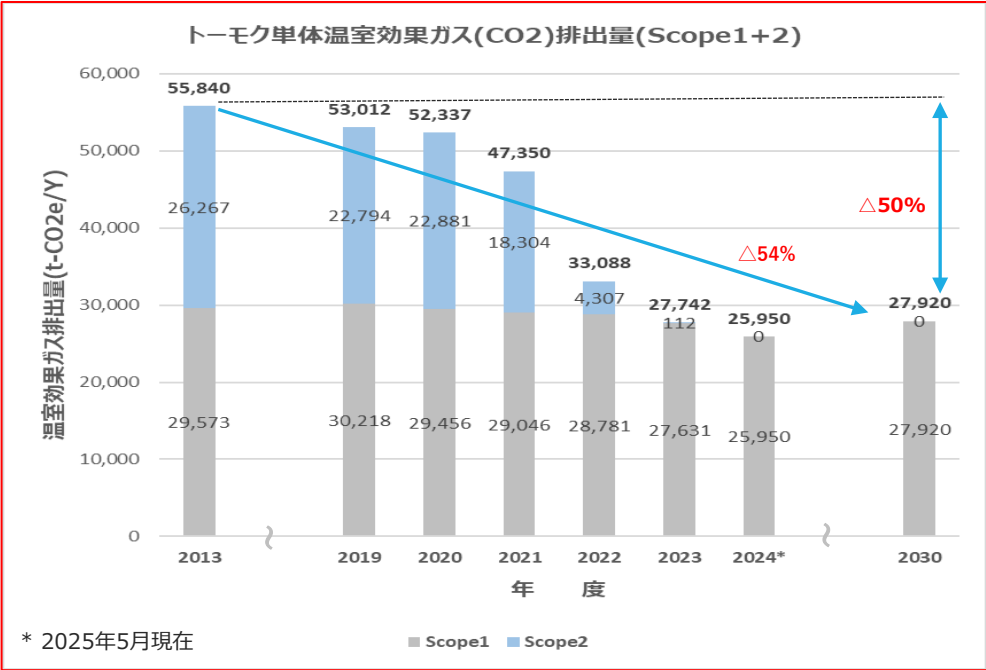
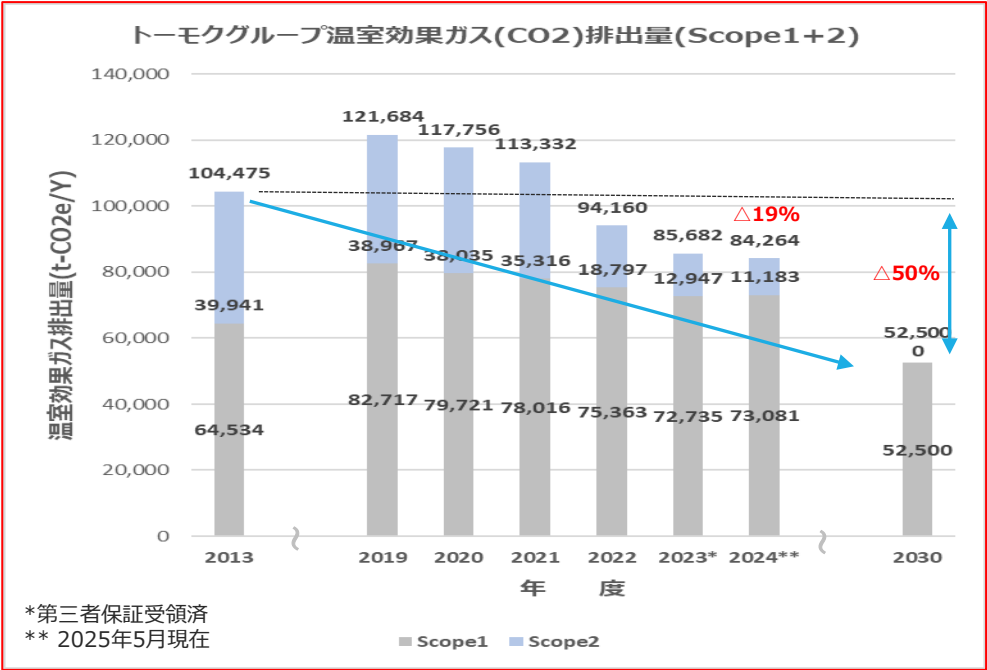
対象：倉庫設備と輸送体制の省エネルギー化

効率的な配車計画、実車率の向上、環境対応型トラックの導入

グリーンプロジェクト活動（倉庫設備への再生可能エネルギー由来電力の導入・

省エネ運転・アイドリングストップ等による燃費向上など）、バッテリー式構内作業用
リフトの導入

温室効果ガス（GHG）▲50%目標に向けた取組み状況及び計画



温室効果ガス（GHG）削減 取組状況

● 再生可能エネルギー由来電力の導入	．．．．．	2023年3月期：トモク7工場、トウウン3倉庫で導入済 2024年3月期：トモク全17工場導入完了、グループ会社へ順次拡大 2025年3月期：トモク本社、スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部、岐阜・羽生配送センター等
● ボイラー燃料の重油 ⇒ ガス化	．．．．．	13工場ガス化済
● LED照明、バッテリー式構内作業用リフト	．．．．．	2021年4月以降 順次更新
● 新築に占めるZEH棟数割合	．．．．．	2025年3月期：50.8%
● 居住時の一次エネルギー消費量	．．．．．	2023年3月期△39%⇒2024年3月期△42%⇒2025年3月期△42% ※1（全着工物件の平均）
● 次世代型太陽光発電の新たな取り組み	．．．．．	住宅で初となる軽量、リサイクル性に優れるフィルム型太陽光発電設備の実証実験開始

※1:BEI削減率=100-(設計一次エネルギー消費量／基準一次エネルギー消費量)％、スウェーデンハウス実績

持続可能な原材料100%に向けた取り組み

・ FSC認証原紙の購入

段ボール原紙は、原則、FSC認証*された原紙を購入、2024年度実績で購入原紙の86.8%がFSC認証品

*FSC（森林管理協議会）認証：合法性、労働者・先住民の権利、地域社会との関係など
広範な視点から森林管理を認証する制度

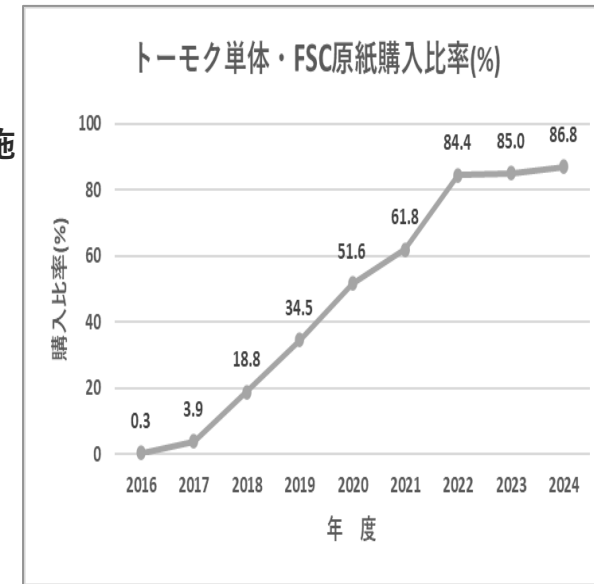
・ サプライチェーンマネジメント

取引先へ法令順守、環境、人権等のSAQ(Self-Assessment Questionnaire)の実施
2024年度は段ボール原料のサプライヤーすべてに実施

・ 森林資源の保全に配慮した住宅材購入

住宅事業（スウェーデンハウス）では、森林資源の保全に配慮した事業を展開

- ・ 森林資源が厳しく管理されている北欧材を使用したパネル製造・組み立て
⇒ 森林資源・生態系保全、地球温暖化防止に貢献する住宅
- ・ 「木材調達方針」で持続可能な森林経営を支援
- ・ 木材産地や樹種等に基づく木材評価体系を作成、森林保全に配慮した購入



リサイクル（段ボールのリサイクル、住宅建築現場での廃棄物処理など）

サーキュラーエコノミーの潮流を認識、廃棄物削減、リサイクル化を率先して推進

・ 段ボール事業

段ボール端材は段ボール原紙に100%再利用、リサイクルマーク表示率98.4%

・ 住宅事業

住宅建築現場での廃棄物発生を削減するため、使用パネルの改良にも工夫

地球温暖化防止

生物多様性保全

人権の尊重

サプライチェーン※

労働安全衛生

ダイバーシティ&インクルージョン※

地域コミュニティの発展※

温室効果ガス削減 50%（2030年）

持続可能な原材料 100%（2030年）

人権研修の実施 グループ従業員100%

人権D Dの実施 グループ会社100%

サプライチェーンSAQの実施

災害ゼロに向けた職場環境整備 労働災害 0件

女性従業員比率 20%（2030年）

女性管理職比率 10%（2030年）

男性育児休暇取得率 100%

有給休暇取得率 70%

障がい者雇用率 3.0%

2023年度実績 2024年度実績

19.4% 19.2%

4.1% 4.8%

106.3% 108.8%

55.9% 56.8%

2.4% 2.8%

- ・全工場で地域住民との交流、近隣の小中学校等を対象に、社会、環境体験の一環として見学会・勉強会・出張授業・職業体験学習を実施
- ・企業版ふるさと納税を活用し、子ども支援事業に貢献

※トーモク単体で実施

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2025年5月現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2025年5月現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

株式会社 トーモク

東証プライム：証券コード 3946

連絡先

mail:3946ir@tomoku.co.jp